

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」北田宮校			
○保護者評価実施期間	2025年10月14日 ~ 2025年12月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年1月8日 ~ 2026年1月9日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月9日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	狭いスペースの中でもしっかりと構造化できていること	職員全体で話し合い、定期的に校舎内のレイアウトを変更し構造化を行っている。また、必要なパーテーションなどは手作りで自作するなどしている。教材が非常に多いので、収納スペースを確保できるように工夫している。	より広いテナントに移動できるのがベストだが、今は現実的ではない。収納スペースを工夫し、利用者の活動スペースが狭くならないように工夫していく。
2	職員全体でお子さんを見るという意識があるところ	校舎全体の様子が見えるような支援スタイルであるため、胆道以外の利用者の動きにも気を配ることができる。専門的支援実施においても、複数の職員で対応できるようにしている。	1年に一回担当指導員を変更することで、指導員がどの利用差の療育にも携われるような機会を作り、アットホームな事業所にしていく。
3	定期的にイベントなどを開催しているところ	外部から講師を招いてのサイエンスイベントや、地域の施設を使っての運動イベントなど、校舎外とのつながりもしっかりと作りつつ充実したイベントを開催することができた。保護者・利用者ともに好評であった。	今後も外部講師と連携したイベントを企画していく。今までイベントに参加できていない利用者も参加できるように日程調整を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	校舎が狭い	この事業所を開所当時にテナントの選択で失敗していると思う。療育をするにはある程度広さが必要だと感じる。	収納スペースを工夫し、極力活動スペースを広くしたい。可能であればもっと広いテナントに移転したい。
2	保護者支援が充実していない	個々で保護者の方の相談する機会は設けているが、保護者会やペアレントトレーニングなどは現在実施できていない。	子どもが利用している時に別室で保護者と話せる場所や、保護者が集まれるスペースがほしい。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営が少ない	校舎周辺の清掃や花壇の手入れをしているときに地域の方にお声掛けいただき話す機会はあるが、校舎の広さから行事に招待するのは難しい。	引き続き校舎周辺の清掃や花壇の手入れで地域の方々とお話しする機会は継続していきたい。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」北田宮校
------	--------------------

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数 20

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	4	0	0	少し狭いように感じます。	なるべく広くなるようにレイアウトの工夫を行っている。もう少し広いテナントに移転できるとベストだと考えている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0		
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	3	2	2	5		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	0	1	6	保護者会やペアレントトレーニングなどは現在校舎の狭さでは難しく実施できない。情報提供はあれば実施している	
保護者への説明等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	0	3	5	個々で保護者の方の相談する機会は設けているが、保護者会などは現在校舎の狭さでは難しく実施できていない。	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	2	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	とても楽しく通えています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0	楽しい活動を色々と考えてくださり、子どもに寄り添った内容で安心して通うことが出来ています。いつもありがとうございます。	

公表

## 事業所における自己評価結果

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		マンネリ化を防ぐために色々なアイデアを取り入れるように気を付けている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		イベントを実施する時に集団活動を意識して取り入れている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		記録はその日のうちに書き込むということは徹底できている そのために記録の時間を確保するために時間の配分を工夫している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		保護者からの依頼を受けて就学支援シートを使って情報提供を行っている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>	交流が取れるように努力したいと思っている	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		子どもの変化に気づいた時は、保護者の方と話し合う時間を確保できるように努めている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>	実施ができるよう職員の研修を考えている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時管理者が丁寧に説明をしている 年度代わりなど負担金について疑問を持ったことに答えている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		時間のすり合わせをして、一緒に考えできそうなことを見つけ出しアドバイスをしている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		部屋にスペースが取れないため、企画ができる部屋にスペースがあれば実施したいと思っている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		保護者から相談をしたいという申し出がある時はすぐ時間を空けて対応をしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		ブログを使って活動の様子を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		年間計画に設定し取り組んでいる	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		災害対策として緊急連絡先カードを作り、避難と連絡先の訓練の中で実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		校舎内での閲覧を行い再発防止に取り組んでいる	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			